

令和3年度

公営企業会計決算資料

福井県流域下水道事業

土木部

項 目 頁

流域下水道事業会計における決算状況について

1	損益収支の状況	1
2	今後の経営状況	2
3	事業収益の状況	2
4	事業費用の状況	3
5	企業債残高の推移	3

令和3年度 福井県流域下水道事業会計における決算の状況について

1 損益収支の状況

令和3年度の流域下水道事業会計については、事業収益が25億2,781万6千円、事業費用が25億7,409万8千円となり、4,628万2千円の純損失が生じた。主な要因は固定資産の減価償却にかかる減価償却費(営業費用)と長期前受金戻入(営業外収益)の差額であるが、これらは現金を伴わない収支である。

流域関連3市の負担が大きくならないよう下水道事業特別会計から引き継いだ繰越金を戦略的に活用しており、令和3年度末の繰越金残高は1,800万円減少し9億6,600万円となった。

(単位:千円)

事業収益		事業費用	
営業収益	824,932	営業費用	2,537,033
営業外収益	1,702,884	営業外費用	37,065
計	2,527,816	計	2,574,098
純損失			46,282
前年度繰越欠損金			301,543
当年度未処理欠損金			347,825
欠損金処理			0
繰越欠損金			347,825

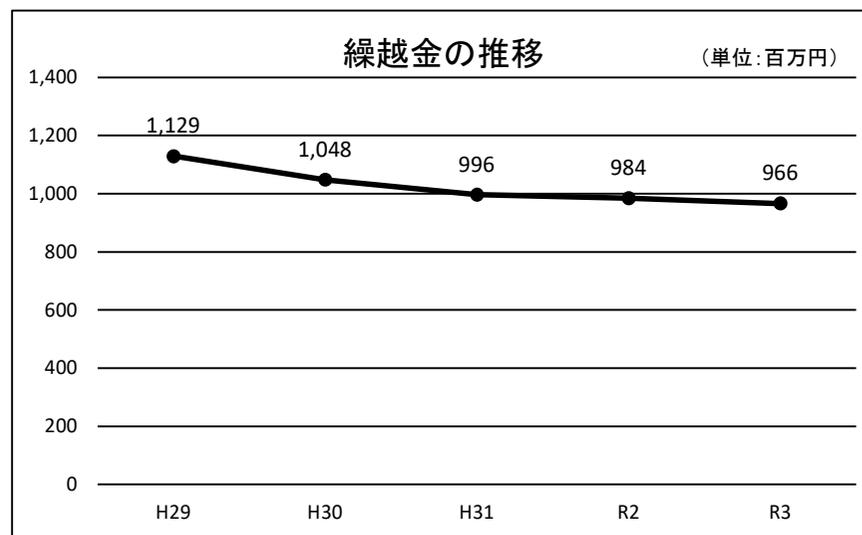
純損失と未処理欠損金の推移

(単位:千円、%)

区分	年度	3	2	対前年度比	
				増減額	増減率
純損失		46,282	301,543	△ 255,261	84.7
当年度未処理欠損金		347,825	301,543	46,282	△ 15.3

繰越金の推移

(単位:百万円)



(単位:百万円)

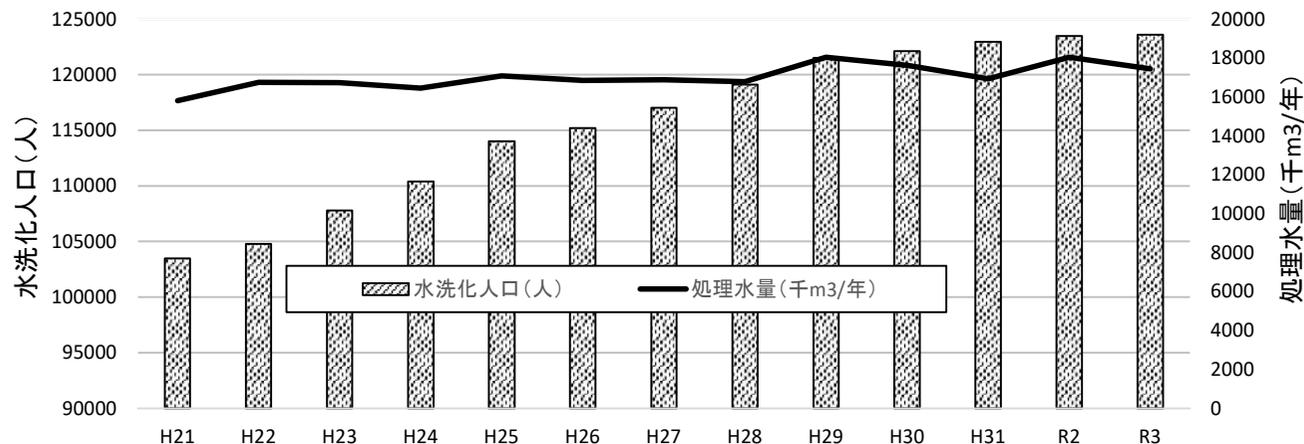
	H29	H30	H31	R2	R3
繰越金	1,129	1,048	996	984	966
増減	△ 39	△ 81	△ 52	△ 12	△ 18

2 今後の経営状況

令和3年度は処理水量が微減となった。近年の処理水量は横ばいが続いているが、今後は人口減少等に伴い減少が見込まれるため、維持管理にかかる費用の一層のコスト縮減に取り組みながら計画的な施設の管理や更新等の実施に努め、健全な経営を目指していく。

水洗化人口と処理水量の推移

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
水洗化人口(人)	101,086	103,498	104,795	107,790	110,398	114,025	115,196	117,022	119,105	121,515	122,107	122,958	123,479	123,597
処理水量(千m3/年)	15,065	15,812	16,747	16,721	16,439	17,072	16,851	16,880	16,766	18,031	17,623	16,932	18,035	17,450



3 事業収益の状況

営業収益は、流域関連3市からの維持管理負担金を計上している。令和3年度の営業収益は8億2,493万2千円となり、前年度に比べ2,761万7千円減少した。これは流入汚水量の減少によるものである。

営業外収益は、補助金等を計上している。令和3年度の営業外収益は17億288万4千円となり、前年度に比べ2億7,627万4千円増加した。これは減価償却費の収益化に伴う長期前受金戻入の増加によるものである。

(単位:千円、%)

区分	年度		対前年度比	
	3	2	増減額	増減率
営業収益	824,932	852,549	△ 27,617	△ 3.2
営業外収益	1,702,884	1,426,610	276,274	19.4
特別利益	-	5,648	△ 5,648	△ 100.0
合計	2,527,816	2,284,807	243,009	10.6

4 事業費用の状況

営業費用は、九頭竜川流域下水道の維持管理費や減価償却費を計上している。令和3年度の営業費用は25億3,703万3千円となり、前年度に比べ339万9千円増加した。これは主に、固定資産除却費の増加によるものである。

営業外費用は、主に企業債の支払利息を計上している。令和3年度の営業外費用は3,706万5千円となり、前年度に比べ1,565万1千円減少した。これは主に消費税の決算仕訳に伴う雑支出の減少によるものである。

(単位:千円、%)

年度 区分	3	2	対前年度比	
			増減額	増減率
営業費用	2,537,033	2,533,634	3,399	0.1
営業外費用	37,065	52,716	△ 15,651	△ 29.7
合計	2,574,098	2,586,350	△ 12,252	△ 0.5

5 企業債残高の推移

企業債残高は公営企業会計を適用する以前から年々減少しており、令和3年度末は29億9,743万円となった。

(単位:千円)

年度 区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
新規借入額	235,000	181,000	184,000	180,300	182,000
償還額	342,884	305,720	260,645	268,751	288,286
企業債残高	3,393,532	3,268,812	3,192,167	3,103,716	2,997,430

(単位:百万円)

